

# 聖愛

十月号  
原町聖愛保育園  
二〇〇七年十月一日発行

暑かった夏も過ぎ去り、空が澄んでトンボが飛び交う秋になりました。夏のエネルギーを蓄えた元気な子ども達は、今運動会を目指して、一生懸命練習をしています。ご家族のみなさんも応援して下さい。

## 「子ども野生復帰大作戦」

タイトルの表現はちよつと乱暴に感じますが、言いたいことが伝わってきます。これは兵庫県豊岡市の取り組みで、豊かな自然に恵まれながら、子どもたちは自然の中で思いっきり遊ぶことが不足している、自然の中でたくさん実体験させよう、というものです。

自然の中での実体験は、人間の持つ五感（視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚）を養い、伸ばし、磨いてくれます。この五感の働きと力は、日常の生活で、自分を取り巻く様々なことに敏感に気付くための、感知器となるものです。神様が創造された自然はきれいで変化に富み、恵みや楽しみを与えてくれます。そこは、室内や整えられた環境とはまったく違います。同時に、危険とも隣り合わせることもありますので、どんなことにも、直面した状況に

応じて即座に、自分で判断をして行動しなければなりません。今年の夏は、年長児を中心に数回海に出かけました。砂浜に立ってはじめのうちは遠巻きに見ていた子どもが、波を見、その音を聞き、磯の匂いを嗅ぎ、裸足で触れるなどしながら徐々に慣れると、さっきのしり込みしていたのが嘘のように、打ち寄せる波に戯れて歓声を上げて遊ぶようになりました。子どもたちは、砂も貝殻も昆布も小石も、しょっぱい海水も、自分にかかわる全てを全身で感じ取って、海の自然を満喫しているようでした。

また、海や川での遊びを経験すると即、年長児のプール遊びに変化が現れました。少しでも長く息を止めて潜る、泳ぐなど、遊びに目的を持たせたり、一つの行動に集中するようになったりしました。自然での実体験がこのような変化に繋がる心の動きを、引き出してくれたのだと思います。

私たちの身近には、山・川・海の自然が豊かにあります。大人と一緒に出かけ、自然の楽しさと危険性、守るべきことなどを教えながら、実体験する機会を意識して子どもに与えなければならぬと思います。園長 遠藤美保子

### 10月の主題 「はずんで」(年少)「おもしろい」(ファミリー)

暗唱聖句「見よ、わたしは、あなたたちのために天からパンを降らせる」  
出エジプト16章4節

クラス	保育目標	活動	保育者の配慮
てんじ 0歳児	◎保育者と一緒に戸外探索をし、体を動かして遊ぶ。	散歩 ハイハイや歩いておいかけごっこ 木の花、草花、木の実に触れる	・一人ひとりの興味や発達に合わせて、戸外で過ごす時間配分に考慮し、楽しめるように保育者も一緒になって楽しむ。 ・自然の様々な物に直接触れたり、たくさん見たりする機会を多くもつようにする。
つぼみ 1歳児	◎戸外で全身を使って遊び、気持ちよく過ごす。	かけっこ、かくれんぼ、しっぽとり ダンボール遊び(お家ごっこ) 散歩(落ち葉拾い、草花、虫探し)	・戸外でのびのびと動いて遊べるよう、保育者がやって見せたり、共感したりしながら遊びに誘う。 ・走る、歩く動作に加えて、手足を使ってぐる・もぐる・とぶなど様々な動きも促せるように意識して働きかける。
はな 2歳児	◎保育者や友だちと一緒に、戸外の自然の中で全身を使った遊びを楽しむ。	散歩(どんぐり、松ぼっくり拾い) 太鼓橋(登る、ぶら下がる) 簡単なルールのある遊び (椅子取りゲーム)	・戸外遊びや散歩など、外で過ごすことの気持ちよさを体験すると同時に、木の実や葉っぱなどに触れることで季節の変化を感じられるにする。 ・遊びを保育者が仲立ちし、時にはリードしながら、自分でできたという自信へ繋げられるように援助する。
なみ 3歳児	◎一つの遊びを友だちと行い、楽しさやおもしろさを味わう。	《室内》 おりがみ(なみ) ※3 草木染め(つき・ほし) ※1 マフラー作り(ほし) ※2 海の物を使ってイメージ画(作品展)(つき) ※7	・運動会の競技でやった事を遊びに取り入れ、その余韻を友だちと一緒に楽しめるように、場面にあった援助やものを提供する。 ※4 ・遊びの中で子ども同士の会話に耳を傾け、個人差を考慮しながら遊びに誘ったり励ましたり、関わりを増やすようにする。 ※3・5
ほし ファミリークラス 4歳児	◎友だちと一緒に遊ぶ面白さを全身で感じる。	《室内》 運動会競技の再現遊び ※4 散歩(草花や木の実拾い) ※5 海(砂浜あそび)(ほし・つき) 集団あそび ※6	・運動会の余韻を楽しめるよう環境を整え、出来た喜びや自信がついてきた様子を見逃さず、さらに次への目標が達成出来るように援助する。 ※4 ・様々な体験から思いを膨らませ、友だちのしている事に刺激を受けやってみようという思いを引き出せるようにする。 ※6 ・色々な素材に触れてイメージを膨らませ、楽しさを味わえるようにする。 ※1・2
つき 5歳児	◎意見を出しあい、思いを共有して遊びを進め、楽しさを味わう。	《室内》 運動会競技の再現遊び ※4 散歩(草花や木の実拾い) ※5 海(砂浜あそび)(ほし・つき) 集団あそび ※6	・自分たちでルールを考え、そのルールを守り一緒に共有する事で、より遊びが面白くなるような経験ができるよう、遊びの展開を見守る。 ※6 ・これまでに体験したことを、いろいろな素材を使って自由に表現して、一つの作品に仕上げられるように、環境や準備を整える。 ※7

◎ 10月の予定◎

日付	園の行事	職員の予定
2(火) ~4(木)	原一中生職場体験学習	
3(水)	子育てサークル	職員会議
4(木)	運動会総合練習	
6(土)	運動会(お弁当の日)	
9(火)	合同礼拝(つき・ほし)	聖書研究 めぐみの会
10(水)	避難訓練 子育てサークル	マネージャー会議
11(木)	小人さんの音楽会	
12(金)	久米本先生指導	
16(火)	しゃりん梅訪問	ほれん市長部長との懇談会
17(水)	海遊び 原町シーサイドパーク 子育てサークル	企画会議
18(木)	小人さんの音楽会	構造化会議 テーマ別研修会
19(金)	世代間交流事業(ほし) 草木染め 久米本先生指導	
20(土) 21(日)	第19年度原町福祉まつり (南相馬市福祉会館)	
22(月)	食育体験・豆腐作り(ファミリー)	
23(火)	芋掘り芋煮会	
24(水)	子育てサークル	給食会議
25(木)	ポップコーン	相双支部保育協議会保育士部会 学習会
26(金)	久米本先生指導 健康診断(全園児)	感染症対策研修会① 保護者会レク「ナイトコンサート」
27(土)	中山先生自然遊び教室	
30(火)		聖書研究 タラントの会 園内研修
31(水)	しゃりん梅訪問	

<2007年度 運動会>

いよいよ待ちに待った運動会です。これまでの遊びの体験を活かし「川と海」をイメージした競技が満載です。どうぞご家族皆様さんでお楽しみ下さい。

- ・日時 10月6日(土) 9:00~
- ・場所 原町第二小学校 体育館
- ・運動会テーマ「川と海」
- ~つながる・広がる・深い~

<食育体験/豆腐作り> 10月22日(月) ファミリークラス

大豆をすりつぶし煮て、にがりをいれて固めます。手間隙かけて子どもたちと一緒に、実際に昔ながらの製法で作ります。大豆は「畑のお肉」と言われるほど、栄養価が高く、日本全国で昔からよく食べられています。作業を通して、子どもたちに豆腐の成り立ちなども伝えます。出来上がった豆腐は、翌日の芋煮会で試食します。



<自然遊び教室/本陣山> 10月27日(土) 9:00~12:00

前回に続いて保護者会主催で実施します。中山康夫先生(ろぜつとわくす)から自然のすばらしさや大切さ、遊びを教えていただきながら、発見あり、体験あり、の楽しい時間を過ごします。行き先は、保育園をスタートして本陣山をグルリと歩きます。これまでに参加したことのない方も、ぜひこの機会にどうぞ体験して下さい。小さい子どもたちもらくらく参加できる内容です。詳細は後日お知らせします。

平成20年度の入園を継続される方は、「平成20年度保育園継続入園届」(書類を添えて)を10月18日(木)までに保育園へ提出して下さい。期日をお守り下さい。

< 秋 >

「読書」

秋です。時にはTVを消して、家族と一緒に「本」を楽しみましょう。



幼いときに絵本を読んでもらって、楽しみいっぱい育てた子どもは、大人になり、親になったとき、自然に子どもに絵本を読んでやっています。・・・自分が子どものとき楽しんだことを、・・・喜びを深く感じたからこそ、喜びの伝え手として生きているのです。  
「絵本の現在子どもの未来」 松居 直著

「実り」

豊かな実りは、私たちの生活を潤してくれます。実りを当たり前と思うのではなく、いつも感謝を忘れないようにしましょう。

「森」

これからの季節は、木々や山一面の紅葉が私たちの目を楽しませてくれます。

私たち人間が生きるためには、「森」はとても大切なものです。昨年は全国的にドングリが実らなかった年でしたが、今年は豊作。本陣山にも、たくさんドングリが実っています。

保育園では、森にドングリの木を植えよう、と3年前からドングリを拾ってきて苗を育てています。なかなか大きくなりませんが、20cm位に生長したら森に植えたいと計画しています。

この活動を通して、子どもの時から森に関心を持つ人に成長して欲しいと願っています。また、子どもたちが大人になった時に、豊かな森になっていますように・・・。

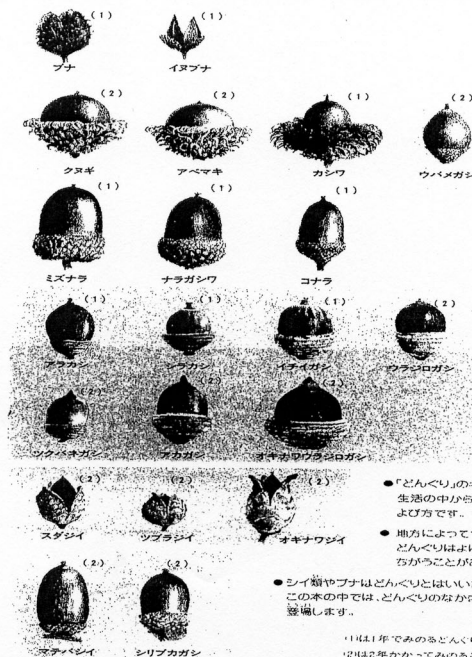
ドングリとは・・・ブナ科の木の実で硬い皮をもつ種子。

ドングリはどれも良く似ていてたくさんの種類があり、森に住む熊や鹿、リス、ネズミたちにとって大切な食料です。



また、ドングリは二酸化炭素を吸う働きをして、私たちが生きていることに深く関係しています。地球温暖化防止に大いに役に立っているドングリの木を植える活動が今、世界各国でも展開されています。

どんぐりの種類はこんなにたくさんあります！



- 「どんぐり」の名は生活の中から生まれたよび方です。
- 地方によっても、どんぐりはよび方がちがうことがあります。
- シイタケやブナはどんぐりとはいきませんが、この本の中では、どんぐりのなかまとして登場します。

①は1年であのどんぐり  
②は2年かかってあのどんぐり。

「海の漁師が山に木を植える」

豊かな漁場をつくるための森林整備活動が、全国各地で行われているようです。「森」と「海」は別々のような気がしていますが、深い関係があります。

豊かな森林から流れる豊かな淡水は、川を伝って海へいき、魚介類のエサとなるプランクトンを増殖させます。そして小魚が集まり、小魚を求めて大型魚が集まります。このように森と海との関係は密接で、私たちの生命にも関係して、とても大切だということが分かります。

このメッセージを保育のテーマ「川と海」に託して、子どもたちと一緒に考えていきたいと思えます。

お知らせ

◎10月1日：衣替え(長袖制服、室内履き(シューズ)交換です。  
◎午睡用布団類の持ち帰り：12日(金)・26日(金)です。寒くなりましたので、薄手の物を厚手の物と交換してください。